

自動車メーカー10社が推進するSDL規格、対応アプリを大募集 「SDLアプリコンテスト2020」、応募締切を1月15日に延長 関連施策の第1弾として、8月1日・2日にオンラインハッカソンを実施！

SDLアプリコンテスト実行委員会は、多くの開発者にSDLアプリの開発に接していただくことを目的に、4月1日より「スマートフォンとクルマをなかよくする『SDLアプリコンテスト2020』」を開催しております。このたび、本コンテストの応募締切を2021年1月15日に延長いたしましたので、お知らせいたします。



SDL (Smart Device Link: スマートデバイスリンク) は、クルマやバイクとスマートフォンを連携させ、カーナビ(車載機)からスマホアプリを操作できるようにすることで、運転中でもスマートフォンを安全かつ効率的に使用できる、オープンソースの国際標準規格です。2019年12月に道路交通法が改正され、「ながら運転」が厳罰化されたことで、スマートフォンと車・バイクを繋ぎ、新たな車室環境を作る規格として、SDLへの注目や期待は非常に高いものとなっています。

本コンテストはこれまで、応募期間を4月1日～11月4日としておりました。しかし、昨今の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行による影響を鑑みて、応募締切を2021年1月15日(金)に変更いたします。これに伴って、最終審査会の日程も2021年3月8日(月)の予定とします。

また、新たにオンラインでのハッカソンやワークショップの実施等、本コンテストへの応募を促す取り組みを、7月以降順次実施します。第1回のオンラインハッカソンは8月1日・2日に実施。また連動した事前ハンズオンを7月21日・28日に行います。詳細については、本コンテストの公式サイト(<http://sdl-contest.com/>)をご覧ください。



SDLの普及を推進するSDLコンソーシアム日本分科会に参加の自動車メーカー10社

【お問い合わせ】

事務局(株式会社角川アスキー総合研究所) Mail: sdl@lab-kadokawa.com

「クルマとスマホをなかよくする SDLアプリコンテスト2020」概要

本コンテストでは、四輪と二輪の両方を対象に、SDLに対応するアプリ(Android、iOS)を広く募集いたします。年齢、性別、国籍等は不問で、個人・チームどちらでも応募可能です。

募集期間は2020年4月1日から2021年1月15日まで。2021年3月8日(予定)に最終審査会を開催し、グランプリには賞金50万円と副賞を、特別賞(最大5作品)には賞金10万円を贈呈します。

- コンテスト名: クルマとスマホをなかよくする SDLアプリコンテスト2020
- 主催: SDLアプリコンテスト実行委員会(事務局 角川アスキー総合研究所)
- 協力/後援: SDLコンソーシアム日本分科会 ほか
- 募集期間: 2020年4月1日(水)~2021年1月15日(金)24:00
- 募集内容: エミュレーターか開発キット上で開発したSDL対応アプリ(既存アプリの移植、新規開発)
- 募集対象: 年齢、性別、国籍等不問。個人・チームどちらでも応募可
- 応募方法: プレゼンシートと動作解説動画をWebフォームで応募
- 審査: 審査員が新規性、UX・デザイン、実装の巧みさ等で評価
- 最終審査会: 2021年3月8日(予定)
- グランプリ: 賞金50万円+副賞
- 特別賞: 賞金各10万円
- 公式サイト: <http://sdl-contest.com/>

※今後の新型コロナウイルス感染症の状況等により、実施内容・期間が変更になる可能性があります。